

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 住友化学株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号 東京日本橋タワー	
本票作成	部署名：岡山プラント生産技術部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	医薬品、医薬中間体の製造 従業員200名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	大分工場岡山プラント		岡山県倉敷市児島田の口6丁目4番1号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 26.7 %	目標区分 ○	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 3 年度)			目標年度 (令和 8 年度)					
	28,455 t CO <sub>2</sub>			20,854 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 3 年度) の排出量					
	①	大分工場岡山プラント		28,455 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
			基準年度	目標年度
			CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 3 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

SBTの新目標「当社グループのGHG排出量を2030年度(令和12年度)までに2013年度比で50%削減」に従い、大分工場岡山プラントの2030年度(令和12年度)GHG排出量目標17000t-CO<sub>2</sub>(2020年度(令和2年度)比36%削減-新SBT設定基準)に向けて削減率を設定する。  
2026年度(令和8年度)は比例計算で2020年度(令和2年度)比21.6%削減するとして目標設定した。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

ISO14001環境マネジメントシステムを活用し、継続的な改善を推進する

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山プラント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未稼働時の空調機運転停止による節電</li> <li>・冷凍機運転台数の削減</li> <li>・液中燃焼設備での設備改造および運転条件改善によるLNG使用量削減</li> <li>・水銀灯LED化の推進</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山プラント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED化の推進</li> <li>・CO2フリー電力の導入</li> <li>・冷凍機更新、窒素設備の更新</li> <li>・熱媒ボイラー更新</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

・2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、取り組み方針や活動目標をはじめとするグランドデザインを策定・公表した。当社グループのGHG排出量を13年度比で30年度までに削減目標を50%に引き上げたことに伴い、2021年12月、「2℃を十分に下回る水準（Well-below 2℃）」でSBT(Science Based Targets)イニシアチブの認定を改めて取得した。

・新SBT目標にあわせて、岡山プラントのGHG削減目標を、「2030年度（令和12年度）に2020年度（令和2年度）比36%削減」としている。2026年（令和8年度）度目標は中間年として仮設定。